ボロン・ルームプラス メンテナンスガイド

MAINTENANCE GUIDE

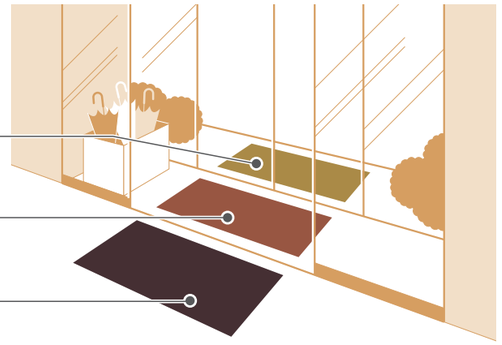
繊維状のビニルを織り込んだ独特な構造の床材です。
長く美しくお使いいただくために定期的なメンテナンスをおすすめいたします。

予防メンテナンス Prevention

施設内の汚れの約80%は外から運び込まれます。泥・砂・コンクリート粉・煤煙・アスファルトなどが靴底に付着し、それが施設内の床材に転移して汚れが拡散します。このため、施設の中だけでなく駐車場・連絡通路・外構回り歩道の清掃をこまめに実施する日常清掃が大切です。

3 段階のマット設置が汚れの防止に効果を発揮

1. まず玄関の外に雨・風耐用型のマットを置き、外からの泥・砂などをふるい落とします。
2. 次に風除室内に雨の水分まで吸収するマットを敷きます。
3. 最後に施設内に汚れ・埃・水分を吸収、吸着するマットを敷きます。



外から施設内まで来訪者が自然に歩いて泥・砂を落とすには、約6mの除塵スペースが必要であると言われています。
なるべく広範囲にわたってマットを設置することが施設内部の床材の汚れを防ぎます。

※マットが汚れて泥・砂が飽和状態のまま放置すると逆にマットの汚れが内部に入ってきますので、マットは常に清掃しておきます。
毎日のバキュームと月1回の水洗いをおすすめします。
※大きなマットは重量があり、めくれにくいですが、バリアフリーを推進するためには初期床工事の時に、マットの厚み分床の仕上高を低くする必要があります。

取扱上のご注意

ボロン・ルームプラス

- ●独特な製品構造により、使用環境によって表面に損傷が生じる場合があります。重歩行スペースには適しませんのでお含みおきください。

ボロン

- ●湿気や水が長期間にわたり影響を及ぼす場所への施工はお避けください。アルカリ性の水分により塩ビ樹脂に含まれる可塑剤が加水分解し、異臭が発生する場合があります。施工前に下地水分をご確認ください。
- ●施工後数日間は裁断面の糸が表に出ることがありますが、引っ張らずにハサミでカットしてください。



初期メンテナンス（施工完了後） After Installation

土足での通行を禁止し、床面を保護して接着剤が完全に乾燥・硬化するまで十分な養生期間を取り、初回のメンテナンスを行います。



初期メンテナンス手順

1	乾式ダスターモップや掃除機を使用して埃やゴミを除去し、床面をきれいに掃除してください。
2	床面に付着したヒールマークや接着剤などの汚れは、床材の表面を傷つけないようにナイロンブラシやハンドパッドで取り除き、水または温水（40℃程度）を含ませたウエスなどで拭き取ってください。取れにくい汚れは中性洗剤やアルコールなどで除去し、その後モップなどでしっかり水拭きしてから乾燥させてください。洗剤成分やアルコールが残っていると、劣化、変色、べたつきの原因となる可能性がありますので、ご注意ください。
3	洗浄後、必要に応じてワックスを塗布します**（ボロンはワックスを使用できません）**。 事前に床面が乾燥しているかを確認してから作業してください。ワックスが乾くまでは通行を禁止してください。

※洗剤の希釈は製造元が推奨する希釈率をご確認ください。

日常メンテナンス Daily Care

日常メンテナンスのポイントは、「汚れる前に予防清掃をする」ことです。床面にこびり付いた汚れを取り除くのには大変な時間と労力を要し、床面もきれいになりません。汚れがひどくなる前に汚れの原因を取り除くことが長期にわたる美観維持につながります。



日常メンテナンス手順

1	乾式ダスターモップや掃除機で埃やゴミを取り除いてください。雨の日はエントランス付近を重点的に、固く絞ったモップでぬれている部分を拭き取ります。
2	ヒールマークなどの落ちにくい汚れは、水または温水（40℃程度）を使用し、ナイロンブラシやウエスなどで取り除いてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤やアルコールなどで除去した後、必ずしっかり水拭きをしてから乾燥させてください。洗剤成分やアルコールが残っていると、劣化、変色、べたつきの原因となる可能性がありますので、ご注意ください。
3	洗浄後、必要に応じてワックスを塗布します**（ボロンはワックスを使用できません）**。事前に床面が乾燥しているかを確認してから作業してください。ワックスが乾くまでは通行を禁止してください。歩行頻度や汚れの状況に応じて、1ヶ月に1回程度の表面洗浄と、6ヶ月に1回程度のワックス塗布を定期的に実施してください。洗浄しても全体の黒ずみ、黄ばみが気になる様になったらワックスを剥離し、十分に洗浄のうえワックスを再塗布してください。

※ドライバフィングやバニッシングを行うと、床面の凹凸部が局部的に削られて不具合が生ずる場合があります。
※洗剤の希釈は製造元が推奨する希釈率をご確認ください。